

はよう雨やまんかなあ
外であそびたいなあ

10月20日、河内こども園で親子そろってのお散歩が計画されていました。子どもたちが日頃から挑戦している裏山での忍者修行に、この日は親子で出掛けてみようという、なんともワクワクする内容。しかし、開始直前の雨で、いったん建物の中に避難することに。この後、忍者の棟梁に弟子入りし、修行を積むのですが、子どもたちはどんな表情を見せてくれたのでしょうか。(2〜9ページに関連記事)

ひろがれ！あそびの"わ"	P02～
市政トピックス	P10～
お知らせ	P12～
真庭が好きっ読者の広場	P20～
研鑽に栄誉	P21～
真庭人 関雅之さん	P24～
ぐるっと真庭 まちの話題	P26～

ひろがれ! あそびの“わ”

「しあわせでありたい」

これは全ての人の願いだと思います。

憧れの職業に就きたい、豊かな暮らしを送りたい、楽しく暮らしたい・・・

私たち大人は、子どもたちの幸せを願って「教育」を行っています。

「教育」と言われると、どうしても大人から子どもへ知識を植え付ける学習を想像してしまいがちですが、真庭市教育委員会では、子どもたちがのびのびと成長できるよう、新たな視点から「教育」の在り方を捉え直すことに取り組んでいます。

真庭市教育委員会が大切にしていること、これから取り組むことについて、教育長に話を聞きました。

全ての学齢期における郷育(ごういく)の推進と、 地域総がかりによる子どもたちの育ちの 応援体制をつくりたい

階段を飛び降りて遊ぶ子どもたちの姿を見かけます。何度も挑戦し、成功するとさらに一段上の階段へ。今ある自分の力を測りながら「もうちょっと」に挑戦しているのではありません。そして、うまくできた時のうれしそうな顔。子どもは、自分で育つ力を持っています。そして、その営みを楽しみ、今を幸せに生きる権利を持っています。

真庭市教育委員会は、このことをまず大切にしたいと願っています。

真庭市は総合計画において2024年を一つの節目とし

て真庭ライフスタイル(多様な真庭の豊かな生活)の実現を目指しており、教育委員会としても、多彩で豊かな生活を営む人はいかにして育つか、そのための環境はどうあるべきかを常に意識して事業に取り組んでいます。

そして取り組みの中で特に重視していることが二つあります。一つ目は「地域にあるもの(ないもの)を生かした体験や探究的な学習、いわゆる郷育」です。そして二つ目は「地域ぐるみで子どもたちの育ちを応援する運動づくり」です。

真庭市では、交流定住推進課が幼児期という人格形成に特に大切な時期に、自然という予測不能な環境の中でさまざまなものに触れ、たくさんのかを感じながら、五感を通して感性・興味関心を高めてもらおうとする取り組みを行っています。

人は頭も体も働かせた方がよりよく育つと言われます。

こうした五感を使う学びを全ての学齢期につなげていきたいと考えたとき、「地域で営まれる暮らし」に根差した学びというのが一つのポイントになると考えており、教育委員会ではこの数年間で、小中学校のコミュニティ・スクール化、地域学校協働活動の推進、そしてこれまで関係の薄かった県立高校との連携強化などを進めてきました。

これにより、体験活動や探究的な学習の中に地域をしつかり位置付けていく動き、また学校教育のビジョンをつくるときに地域の皆さんと議論して作り上げていく動き、さらには学校施設を地域に開放し社会教育の場として活用する動きなど、新たな息吹きが芽生えています。



三ツ宗宏 教育長

実現のカギは「一緒にやる」と 「斜め後ろからの伴走支援」

しかし課題もあります。コミュニティ・スクールに移行したものの、学校の取り組みを承認・評価することが中心で、一緒に活動することが生まれにくい、あるいは地域学校協働活動についても学校を支援することが中心で、「一緒にやる」「地域でやる」がなかなか言い出せないという状況もあります。

では、一歩進めるために何が大切なのでしょうか。

私は、子どもはもちろん大人も「一緒に楽しむ」機会づくりが必要だと考えています。そのためには、いろんな知恵を持ち寄り、対話が生まれる顔の見える関係づくりを進めていくことが大切です。とはいえ、自然発生で持ち寄りや対話が生まれるということは難しいものです。ですから、並行して伴走支援することが必要になります。

ここでいう伴走支援というのは、代行するというのではなく、地域で行われる自主的な活動を起こしていくことを支援すること、あるいは起



こりつつある運動を斜め後方から支えること、そして、「一緒にやる」ことをつくり出す過程も含めて「楽しむ」仲間を増やすことだと思っています。令和5年度、市長部局から教育委員会に「郷土魅力化コーディネーター」を移し、伴走支援する形できつつあります。まだまだ全域をカバーするまでには至っていませんが、子どもの育ちを応援する活動の充実に向けた支援を中心に、地域の自治的な活動を教育分野からも進めたいと考えています。

子どもが安心の中で 自由に遊ぶことを支える市民運動を

人の育ちを応援していくために、教育委員会としてこれから特に力を入れていこうとしているのが「遊び」です。では今なぜ、遊びを問題にするのでしょうか。理由はたくさんありますが一つだけ。

真庭市には豊かな自然があります。受け継がれてきた大切な地域資源です。でも、子どもの暮らしに十分生かされていないことが残念です。大人が少しおらかな気持ちで見守ることができれば、子どもたちは自然の中で自分らしさを発揮して動き出します。仲間と対話し、試行錯誤しながら遊びを広げていきます。これは都会にはない、真庭で育つ大きな魅力であり、可能性だと思っています。

幼いころ楽しかったこと、好きだった遊びを思い出してみてください。ちよつと危ないこと、ちよつと悪いこともたくさん思い起こされるのではないのでしょうか。よく覚えているのは、きっと頭と心がしっかりと働いていたからだと思

います。そして「やりたい」気持ち根底にあり、工夫しながら過ごしたからだと思います。

子どもにとって遊びは、今を豊かにし、考えたり判断したりする力はもちろん、楽しみを生み出す力を育む大切な学びの場なのです。

もちろん、昔と同じことを今に実現しようというのはありません。ただ、何かにつけて「これしちゃダメ」「あれしちゃダメ」と制止し、「失敗したらかわいそう」と、転ばぬ先の杖を準備しがちなが今の社会です。

だからこそ、子どもが遊ぶ自由を大切にする大人が増え、子どもが安心の中で自由に遊ぶことを支える市民運動「あそびのわ」を真庭市全域に広げていきたいです。

教育委員会が目指す姿について知ることができました。次はそれらの「実現のカギ」とされている「斜め後ろからの伴走支援」の様子を紹介します。

- 探究的な学習……目まぐるしく変化する社会に対応するため、自ら課題を設定し、主体的に判断し、よりよく問題を解決する力を身につける学習
- コミュニティ・スクール……「学校運営協議会制度」を導入している学校のことを指し、保護者や地域住民などが一定の権限をもって学校運営に参画し、一緒になって子どもたちを育て、よりよい学校づくりを目指す仕組み
- 地域学校協働活動……幅広い地域住民などの参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行うさまざまな活動

教育委員会が目指す姿の実現の「カギ」といわれる伴走支援について、支援する側の思いを郷育魅力化コーディネーターの大岩功さんに聞きました。



大岩 功さん おおいわ いさお
自然体験の機会充実や総合学習の支援など行う

郷を育み続けるというのを伴走支援する

子どもたちと、デコボコ道を歩いているとします。手をつないで横に並ぶと、こんな会話になるかもしれません。

「手はなして!」「あぶないよ?」「自分で歩きたいの!」「大丈夫?」

年齢や個性によって、前から手を引いたり、斜め後ろからついて行ったりします。

もちろん「手つないで!」という子もいますので、「大丈夫だよ」としっかり握ってあげることもあるかもしれません。

子どもと手をつなぐことと、ふるさとの営みに寄り添うことは、どこか似ている気がします。年齢や個性によって答えは違うのに、

正解があるかのように接してしまします。それぞれに歴史や関係性があるのに、共通のゴールがあるかのように感じています。毎日がオーダーメイドですから、とても恐れ多く、丁寧な関わりが必要です。ただ、このワクワクする一大事業に関わらせていただける喜びは大変大きいと感じます。

私たちの職務は、「ふるさとを育む絶え間ない営みに寄り添う」ことだと考えています。子どもも含めた皆さんの対話に寄り添い、地域資源と教育を掛け合わせていきます。そうやって見えてくる郷の景色と一緒に楽しむ輪が広がっていくことを願っています。

こども園×裏山×大岩コーディネーター Ⅱ「自然体験」

子どもの「五感」や「知的好奇心」を高めるのにつけての場所が「身近な自然」です。

一部のこども園ではコーディネーターのサポートもあって身近な自然を再活用する動きがあります。

湯原こども園では、久見神社での「裏山さんぽ」が竹の演奏会に発展。また、河内こども園では、裏の太子堂への「里山さんぽ」が忍者修行の坂登りやアスレチックづくりになっていきました。

「私たち保育士も園児の頑張りなどを客観的に見られる良い機会になっています」(河内こども園 横山智江園長)



忍者修行に挑む園児たち

学校×先人たちの人生×吉野コーディネーター Ⅱ「聞き書き」

地域の歴史とは、そこで生まれ育った人たちの生き方そのものです。

「聞き書き」とは、話し手の言葉を一言一句聞き取り、書き起こし、一つの文章にまとめていく手法です。子どもたちは、聞き書きを通じて話し手の知恵や技、あるいは生き様などを受け止め、自分ごとにしていきます。勝山小・中学校では、令和3年度に勝山町並み保存地区および新町商店街で聞き書きを行い、その成果を展示・発表しました。

「聞き書きを機に小学生と声掛けが始まり、遊びに来てくれるようになりました」(おののすみか店主 片山方司さん)



聞き取りを受ける片山さん

高校×地元事業者×川上コーディネーター Ⅱ「高校魅力化」

高校3年間の地域との接点の濃密さは、その地域への愛着を大きく左右するといわれます。

真庭市では、探究学習など、学びと地域とをつなぐ取り組みを行っています。生徒が学習内容と地域社会とのつながりを実感することで、より深い学びの機会とし、地域課題の解決策を大人たちと一緒に考えることで地域のミライを自分ごとにしていき、またそうした生徒の姿が高校の魅力向上にもつながっています。

「高校生の柔軟な発想から、私たち大人の方が学ばせてもらっています」(レストランシェフ 杉村洋美さん)



商品開発を支援する杉村さん

市内で活動中の 伴走支援チーム

真庭市の教育分野では現在、郷育魅力化コーディネーター5人と地域学校協働活動統括推進員1人が伴走支援活動を行っています。
(氏名、主な支援業務の順に掲載)



大垣内 弘美さん
おおかきうち
ひろみ

まにわあそびの
わプロジェクト
など



吉野 奈保子さん
よしの
なほこ

総合学習支援、
真庭高校魅力化
事業
など

地域学校協働活動統括推進員



森年 雅子さん
もりとし
まさこ

地域学校協働
活動



秋田 智恵子さん
あきた
ちえこ

家庭教育支援、
真庭市教育支援
センター事業
など



川上 翔さん
かわかみ
しょう

勝山高校蒜山校
地魅力化事業
など

今後このメンバーを中心に真庭の遊びと学びの情報発信を行っていきます。(8ページにも関連記事)

☎ 教育総務課 TEL 0867-42-1085 (FAX 1416)



遊びのプログラムを実践する秋田コーディネーター

「遊びのプログラムや研修資料など、いろいろな情報をいただいで助かっています」
(城北塾 職員一同)

真庭市では「学校教育センター」を市内2カ所に設置し、学校外での時間を過ごす子どもたちの学校復帰の支援や、社会的自立の支援を行っています。
特に昨今は、学びの在り方も多様化し、さまざまな選択肢があることから、コーディネーターが関わり、情報提供や、同じ悩みを持つ保護者同士のつながりづくり、あるいは民間事業者を含めた他施設との接続など、センター機能の充実に取り組んでいます。

子ども・保護者・先生×つながり×秋田コーディネーター
「居場所支援」



子どもたちと輪になって遊ぶ辻さん(右)

「子どもには親以外の信頼できる大人がどれだけいるかが大切。今後が楽しみです」
(辻 祥恵さん)

真庭市教育委員会が今後力を入れようとしている「遊び」の取り組みを広げていくため、今年度スタートした「まにわあそびのわプロジェクト」の推進に取り組んでいます。
地域ですでに同様の思いを持って活動している(しようとしている)人たちへのヒアリングや、図書館などを会場としたモデルイベントの実施などを行っています。12月には遊びをテーマにした市民フォーラム(後のページで紹介)も企画しています。

真庭×遊び×大垣内コーディネーター
「遊びのわづくり」



遷喬小学校での活動の様子

「いろんな角度から子どもたちを見てくれていてありがたいです」(遷喬小学校地域学校協働活動推進員 大金尚美さん)

真庭市教育委員会が目指す「すべての学齢期における郷育の推進と地域総がかりによる子どもの育ちの応援体制」の運動拠点の一つとして位置付けているのが、市内小中学校の地域学校協働活動です。
学校が必要とすることへの支援だけでなく、「地域づくり」も視野に入れた活動が広がるよう、各小中学校に配置されている推進員のスキルアップや、横のつながりづくりの支援などを行っています。

コミュニティ・スクール×学校を核とした地域×森年地域学校協働活動統括推進員
「地域学校協働活動」

「あそびのわ」を広げるために具体的にどう取り組んでいくべきなのか、有識者でもある中央図書館の西川館長に話を聞きました。

真庭の大人たちに プレイワークの視点を

真庭市が着目している「遊び」について、まず今の子どもたちと昔の子どもたちで何が違うのか考えてみました。

下の図は概念図で、そばに大人がいる・いないというのが横軸で、主導権が大人にあるか・子どもにあるかの違いを表したものです。

昔は大人がいる場所といえば学校の教室くらいで、放課

後になると大人はおらず、子どもたちが主導権を握っていました。「何をするのか、しないのか」、「どうやるのか」を自分たちで決めていました。ところが、時代とともに大人が子どものそばにいる時間が長くなり、子どもたちは、大人に「あれをしてはだめ」、「これをしなさい」と決められるようになりました。

ここで紹介したいのが、近年広がりつつある「プレイワーク」という概念です。これは「遊ばせる」でも「遊んであげる」でもない、子どもへの関わり方のことで、遊びの環境を整え、子どもが自分で遊びを作り出すことができるようにすることです。そして、この視点を持つて子どもに関わる人が「プレイワーカー」で、プレイワーカーがいる遊びの場が、「プレイパーク」や「冒険遊び場」と言われるものです。地域での活動をはじめ、学童保育や子ども園など、今の真庭にはこのプレイワークの視点を持つた大人を増やしていく必要があると考えます。

これは、私の関わってきた学童保育のイベントの例です。市役所駐車場で2000人がダンボールと落ち葉で遊びました。ダンボールを3トラックいっぱい持つてきて、自由に作ったり壊したり。いきいきとした表情で子どもも大人も遊びました。そこである保護者からこんな感想をいただきました。「これまで、子どもはおもちゃを与えて遊ばせるものだと思っていた。でも、ただそこにあるものだけで楽しそうに遊んでいるわが子がいて、さらにそこに親も入り一緒に遊ぶことがあれば幸せだったとは、目からウロコでした」。実はこのイベントは、3年前までまったく違うものでした。各学童から保護者が動員さ

概念図

子どもの主導権という視点で半世紀を振り返ると？

		その場に大人が	
		いない	いる
主導権が	大人	A	B 学校(教室)
	子ども	C 「放課後」等	D

		その場に大人が	
		いない	いる
主導権が	大人	A	B 「大人が決め指導し、評価する時間」が増
	子ども	C	D

		その場に大人が	
		いない	いる
主導権が	大人	A	B
	子ども	C まち全体が遊び・学びの場に	D ファシリテーターのいる学びの場 プレイワーカーのいる遊びの場

大人はいるが、子どもが主導の時間に……



西川 正 真庭市立中央図書館 館長

滋賀県出身。関東で学童保育指導員、出版社、障がい者団体、NPO 支援センター、大学の専任教員などを歴任しつつさまざまな地域活動を展開。NPO 法人ハズオン埼玉理事。生活協同組合パルシステム埼玉理事。日本ボランティアコーディネーター協会理事。あげお学童クラブの会 元理事・現相談役。保育所保護者会・PTA・民生委員などを経験。元恵泉女学園大学特任准教授。立教大学・大妻女子大学等講師。著書：あそびの生まれる時「お客様」時代の地域活動コーディネーション、あそびの生まれる場所「お客様」時代の公共マネジメント 他

<https://hands-on-s.stores.jp/>

これは、私の関わってきた学童保育のイベントの例です。市役所駐車場で2000人がダンボールと落ち葉で遊びました。ダンボールを3トラックいっぱい持つてきて、自由に作ったり壊したり。いきいきとした表情で子どもも大人も遊びました。そこである保護者からこんな感想をいただきました。「これまで、子どもはおもちゃを与えて遊ばせるものだと思っていた。でも、ただそこにあるものだけで楽しそうに遊んでいるわが子がいて、さらにそこに親も入り一緒に遊ぶことがあれば幸せだったとは、目からウロコでした」。実はこのイベントは、3年前までまったく違うものでした。各学童から保護者が動員さ

れ、当日朝7時からダンボール迷路を作っていました。立派な迷路が10時に完成すると、子どもたちがやってきます。子どもたちは、いろいろな自分なりにやってみようと思います。しかし、大人は「壊しちゃダメ」、「1人1回」、「並びなさい」、「順番」と言って怒っていました。大人の指示する声や禁止する声がいっぱい。それを「子どもまつり」と呼んでいたのです。でもこの時、子どもたちが一番楽しそうだった時間は、迷路をみんなで作った時間でした。特にゴミの山になったダンボールで遊ぶ子たちが一番楽しそうでした。それで私たちも気が付いて、「このやり方は違うので

はないか、子ども自身が遊びを作り出していく場にしよう」と思い直したのです。プレイワークの視点を取り入れ、素材だけを用意し、運営も、「動員をやめて、有志を中心に負担感のない達成感ある形を目指そう」と言ってつくり直したのが、このダンボール遊び場でした。

変わるべきは、まず私たち大人

「やってあげる(サービス)」をして、「あれもだめ」「これもだめ」とか禁止するのは、やはりおかしい。

でも考えてみると、この半世紀、私たちは一生懸命稼いだお金で子どもにおもちゃを

買い与えてきました。そして子どもが壊すと大人が怒る。変な話ですよね。

かつての子どもたちは、野外で自分でいじれるもの(土、水、木、葉、花、多様な生き物など)で自由に工夫をして、やりたいことをしていました。たまに見つかって大人に怒られることもありましたが、それらも含めて、遊ぶということでした。

それが、与えられ、指示や禁止をされる時間がとても長い今の子どもたち。元気がないのも当たり前ですよ。

ちなみに日本の子どもは、世界一自己肯定感が低いといわれています。つまり、生きづらさを感じている子どもが多い。または、幸せだと思えている子どもが少ないということです。これ以上に重大な社会問題があるでしょうか。

でも、これは子どもたちのせいではありません。大人たちの責任です。ゲームを与えておいて、「ゲームばっかりして」と怒るのであれば、ゲーム以外の遊びの環境を大人は

用意する必要があるのではないのでしょうか。

今は、大人が子どもの横にいないわけにはいきません。であれば、大人がいるけれど、子どもが自分で決める、そんな時間を保障する必要があるのだと思います。

命に関わるようなけがが起きないような安全管理はする必要がありますが、小さなけがや多少のトラブルを含めて、基本は子どもに任せる。今後はそんな関わり方「プレイワーク」が必要なのです。

買い与えておいて「壊した」と怒っている大人と、そこにあるもので遊ぶ子どもの姿をニコニコして見守る大人と、どちらの大人といると子どもは幸せでしょうか。

「私はこれが好き」、「私はこんなことをやってみたい」、「私はこう思う」。

真庭の図書館も、子どもたちのそんな声が聞こえる場所であってほしい、やりたいことがあったら相談してみようと思える場であってほしいと思っています。そういう図書館を子どもたちや職員たちと一緒につくっていったらと思っています。



ダンボールで何を作るかは自分で決めます

図書館の取り組み 一部ご紹介

えほんで はなそっ!

毎月1回、1冊の絵本を巡って対話しています。この日は、屋外でこたつに入っておしゃべりをしました。



もちより 音楽カフェ

自分の好きな歌を1曲ずつ持ち寄り、紹介し合います。みんなで耳を傾けていると、温かい気持ちになります。



遊びの機会づくりはじめての「歩」

問 生涯学習課 TEL 0867(42)1094 (FAX 1416)

まにわあそびのわプロジェクト

教育委員会では今年度、国の補助金を活用して、遊びの機会づくりに取り組んでいます。郷育魅力化コーディネーターなどが月1回集まり、どのような遊びの機会をつくるのか、子どもたちの「やってみたい」をどう作っていくのかなどを話し合っています。

年度当初には、県内で活動している二つのプレイパークの視察に行き、遊びの取り組みの現状や課題について学びました。

真庭市内で企業や団体が活躍している地域をモデルとして、その地域で何ができるかなども協議しています。一つの例として、勝山地区では、在住している人たちの協力により、11月12日に中央図書館前のスペースで、人工芝の上にこたつを並べたり、色染めや工作、巨大オセロを置いたりして、子どもや保護者が自由に遊べる空間をつくりました。

遊びや子どもの居場所の大切さについて、まずは市民に知ってもらう機会が必要と考え、広報まにわ11月号にも掲載しました、神奈川県川崎市の「川崎市子ども夢パーク」を取材した「ゆめパのじかん」の上映会を市内6カ所で企画しています。そして、12月23日には、この「川崎市子ども夢パーク」の所長を務めた、西野博之さんをお招きし、講演会などを予定しています。全国各地から引っ張りだこの人なので、この機会にぜひお申込みください。（左記参照）



勝山deあそぼっ!の様子



定例会の様子

家庭教育支援チームの取り組み

家庭教育支援チームふらつ

とが主催し、子育て中の保護者同士が集い、「つながりを作るきっかけづくり」、「子どもたちが、屋外遊びや仲間との遊びの面白さを感じる場」として、遊びの機会をつくつていきます。7月には、久世地区の北町公園のスペースを使って、水の入ったタライを置き、大人が見守りながら、子どもたちが思いきり水遊びのできる空間をつくりました。

焼きたいものを持ち寄りで焼ける七輪も置いて、子どもだけでなく、保護者も楽しめる時間となりました。

11月には、遷喬小学校の体育館で、地域学校協働活動推



緑の中で水遊びをする子どもたち

の児童の参加もありました。学校という場の安心感の中で、普段あまり遊ぶことのない学校の用具や、たき火など思いきり遊ぶことができ、子どもたちの笑顔あふれる時間となりました。



たき火でマシュマロを焼く子どもたち

進員や地域の大人などに協力いただきながら、遊びの機会をつくりました。学習発表会などの振替休業日に合わせて実施したことにより、放課後児童クラブに通っている多くの児童の参加もありました。学校という場の安心感の中で、普段あまり遊ぶことのない学校の用具や、たき火など思いきり遊ぶことができ、子どもたちの笑顔あふれる時間となりました。

神奈川県で「共に地域で育ち合う場」を作り続けている西野博之さんから、子どもも大人も作り手となり「それ、やってみたい!」を分かち合える、そんな「居場所の力」について学びます。スマホ、GIGAスクール、そしてコロナ禍…「オンライン時代」を生きる子どもたちにとって、今こそ必要な環境、大人の関わり方とはなんでしょうか。一緒に考えてみませんか。



日時 12月23日(土) 午後1時30分～3時45分

場所 中央図書館 3階映像シアター

定員: 先着80人

託児: 10人(未就学児のみ/無料)

第1部 ▶ 西野博之さん講演会「"大丈夫"の種を撒こう」

第2部 ▶ パネルディスカッション



西野博之さん
(認定NPO法人フリー
スペースたまりは理事長)

- 西野博之さん
- 三ツ宗宏(真庭市教育委員会 教育長)
- 原 優子さん
(北房つどいの広場/ほくぼうほたるっこ)

進行: 西川 正(中央図書館館長)



参加費
無料



申し込みフォーム▲

遊びと学びの情報を発信

まにわ遊びと学び情報発信ポータルサイト▼

真庭市内の遊びと学びの情報をタイムリーに発信していくウェブサイトを開発します。市内の動きをぜひチェックをお願いします。



JR姫新線の未来へ向けて 意見交換・マルシェ・発表会開催



JR姫新線×旭川りんくるラインdeエコマルシェ (美作落合駅)



駅舎de BeLIN



JR姫新線沿線自治体会議

10月31日、JR姫新線沿線自治体会議が新見市役所で開催されました。JR姫新線への交通系ICの整備を求めることや、今後の利用促進策を自治体間で連携して取り組むための意見交換などが行われました。

11月3日、美作落合駅、久世駅、中国勝山駅とその周辺で、JR姫新線×旭川りんくるラインdeエコマルシェが開催されました。列車や自転車、各会場を巡る人、マルシェを楽しむ人など、思い思いに過ごしていました。

また同日、「シン・駅舎空間創造プロジェクト」の第2弾「駅舎de BeLIN」が、中国勝山駅前で開催。第1弾で参加者が創造した、中国勝山駅を居心地良い空間にするアイデアをCG化し、この日発表されました。

真庭市ホームページ▶



**銀行口座チャージ開始&キャンペーン実施
まにこいん1万ユーザー突破**

1月からテスト稼働を行っていた真庭市デジタル地域通貨「まにこいん」は、9月にユーザー数が1万を突破しました。また、11月から銀行口座チャージも開始し、本格運用が始まりました。これらのことを祝い、11月1日に市役所本庁舎で記念セレモニーを開催。また、利用額の20%を還元するキャンペーンを12月31日まで実施しています。



セレモニーであいさつする太田市長



大人と子どもが混ざってプレー

**ユニバーサルスポーツフェスティバル
みんなで体を動かそう**

10月22日、白梅総合体育館でユニバーサルスポーツフェスティバルが開かれ、市内外から約500人が参加。会場には、卓球バレー、ブラインドラグビー、スポーツ用車いすを使ったハンドボール、ボッチャ、インドアモルックの5つのスポーツが用意され、体験を通して理解と交流を深めていました。他にも、健康チェックや馬と触れ合えるコーナーもあり、参加者はそれぞれの場所で楽しんでいました。



市長室から
こんにちは!

2023年の師走に思うこと

毎年12月になると、時の流れの早さに驚くとともに、何となく気ぜわしさを感じます。私自身、この1年を振り返ってみます。

コロナは発生以来4年を経て次第に沈静化し、今年の5月には「5類感染症」になりました。そのような変化により、真庭市内の社会・経済も活気を取り戻し、特に4年ぶりの地域や団体の行事が多数開催され、にぎわいを取り戻しつつあります。皆さんも、地域は人と人でつながっていることを実感されたのではないのでしょうか。

コロナの影響によるモノやサービスの変調、ロシア・ウクライナ戦争を契機とした国際相場の高騰、円安による輸入品の値上がりなどにより、国内物価が高騰し、実質賃金が目減りしています。緊急的な対策だけでなく、抜本的な所得配分の見直しをしなければなりません。

パレスチナ難民自治区の一つ、ガザ地区に拠点を持つパレスチナ武装組織ハマスがイスラエル住民を襲撃し、多数の死傷者を出し人質を取る事件では、イスラエル政府がハマ스에攻撃する中で、1万人を超えるガザ市民が犠牲になっています。パレスチナを巡る紛争は、紀元前にユダヤ民族国家が滅亡して以来の問題であり、ユダヤ民族が1948年に故郷に建国し、パレスチナ人を追い出したことが紛争を激化させています。何か平和的で有効な対策はないもののでしょうか。

米中の対立激化も深刻です。日本最大の貿易国が中国ですから、日本も多大な影響を受けます。台湾海峡有事が発生すれば日本も巻き込まれる政治軍事体制になっています。「平和」と「友好」を求めていかなければなりません。

夏、秋と今年も異常気象でした。2015年のパリ協定、2021年のグラスゴー気候合意により、二酸化炭素の削減目標は強化されました。要は、実践のみです。真庭市は、SDGs未来都市、脱炭素先行地域の第1号として頑張っています。

子育て環境に関しては、去年の真庭市の出生者数220人、今年は約200人というところで、日本全体の人口減少はやむを得ませんが、この異常な減少を緩やかにする基本は、過疎と過密を解消することです。そのような大きな視野を持ち、こども、子育てに全力で取り組んでまいります。

この1年を振り返りながら、合併20年を迎え、全国植樹祭や森の芸術祭のある来年を、真庭を発展させる年にしていきたいと思います。



新しくなったボルダリングウォールで練習

湯原クライミングセンター
ボルダリングウォールリニューアル

晴れの国おかやま国体の会場として平成14年度に整備された、湯原クライミングセンターのボルダリングウォールの改修工事が終了し、11月1日から利用が再開されました。新しい壁は、全面で木の温もりを感じられるとともにホールドも見やすくなり、初心者でもより楽しめるようになっています。再開初日には、真庭市スポーツ少年団クライミング部が、改修後の初練習を存分に楽しみました。



川ごみを減らして海をきれいに

まにわ川ごみ海ごみ削減ウィーク
真庭から海のことを考える

海ごみの大半は内陸からの生活ごみとされており、発生を抑制するためには内陸での川ごみ対策が不可欠です。川の上流部に住む人たちにも、海ごみは無関係ではないことを知ってもらうことを目的に、11月3日から12日まで「まにわ川ごみ海ごみ削減ウィーク」が開催されました。期間中は、真庭里海米など食の体験、環境パネルクイズラリーなどが行われ、最終日には川ごみ拾い活動も行われました。



真庭市の人口

総数 41,802人(-62)
男 20,083人(-34)
女 21,719人(-28)
世帯数 17,520世帯(-7)

令和5年11月1日現在
()は前月との比較

代表電話番号 (地域振興課・出張所)

- ▶ 本庁舎
TEL 0867-42-1111
FAX 0867-42-1341
- ▶ 蒜山振興局
TEL 0867-66-2511
FAX 0867-66-4401
- ▶ 北房振興局
TEL 0866-52-2111
FAX 0866-52-4496
- ▶ 落合振興局
TEL 0867-52-1111
FAX 0867-52-1939
- ▶ 勝山振興局
TEL 0867-44-2607
FAX 0867-44-4569
- ▶ 美甘振興局
TEL 0867-56-2611
FAX 0867-56-2033
- ▶ 湯原振興局
TEL 0867-62-2011
FAX 0867-62-2097
- ▶ 中和出張所
TEL 0867-67-2111
FAX 0867-67-2205
- ▶ 川上出張所
TEL 0867-66-3611
FAX 0867-66-4402
- ▶ 真庭市消防本部
TEL 0867-42-1190
FAX 0867-42-1672

新入学学用品費の入学前支給

義務教育の円滑な実施を目的に支給している就学援助費のうち、新1年生を対象にした「新入学学用品費」は、入学前に支給することができます。希望する場合は、受付期間内に申請をしてください。

▼新入学学用品費の入学前支給を受けることができる人

就学援助の対象となる人で、申請時に真庭市に住所があり、引き続き令和6年4月に真庭市に住所がある予定の人
※生活保護受給中の人は、生活保護費により支給されるので、入学前支給の対象外です。
※3月末までに転出する可能性のある人は、申請をしないでください。支給後、3月末までに転出した場合には、返還していただきます。
※就学援助の認定要件は、ホームページでご確認ください。

▼申請・支給について

	新小学1年生	新中学1年生
申請場所	真庭市教育委員会教育総務課 または各振興局地域振興課	通学中の小学校
受付期間	12月1日(金)～21日(木)	令和6年1月4日(木)～26日(金)
申請に必要なもの	①申請書(教育総務課、各振興局地域振興課、各保育園・幼稚園・こども園に有り) ②就学援助の要件に応じた証明書類をいずれか1つ ※現在姉・兄が受給している場合は不要 ③委任状兼口座振替依頼書	①申請書(通学中の小学校から配布) ②就学援助の要件に応じた証明書類をいずれか1つ ※現在受給している場合は不要
支給額	一律 54,060円	一律 63,000円
支給時期	2月上旬	2月末

問 教育総務課 美甘 TEL0867-42-1085(FAX1416)
Email: kyohikusohmu@city.maniwa.lg.jp

真庭市
ホームページ



令和6年度委託事業者募集 一般家庭ごみ収集運搬業務

令和6年度の一般家庭ごみの収集運搬委託事業者を募集します。受託希望の事業者は、受付期間内に申請書類を環境課へ提出してください。

■委託業務

①家庭ごみ収集 ②生ごみ収集

■委託区域

①コスモスクリーンセンター管内(落合地区・北房地区の区域)／クリンセンターまにわ管内(久世地区・勝山地区の区域)／真庭北部クリンセンター管内(美甘地区・湯原地区・蒜山地区および新庄村の区域)
②久世地区および落合地区の一部

■委託期間 ①②いずれも令和6年4月1日から1年間

■募集要件

真庭市内に本社がある法人

※詳しくは環境課まで。

■提出書類

・廃棄物の処理及び清掃に関する法律、真庭市廃棄物の処理及び清掃に関する条例のほか、各種法令、規則などで定める書類
・申請書など市が指示する書類(環境課に有り)

■受付期間 12月1日(金)～20日(水)午後5時(必着)

■受託事業者の決定

提出書類に基づき資格審査を行った上で審査委員会に諮り、指名事業者を決定します。その中から指名競争入札により、受託事業者を決定します。

■問い合わせ先

環境課 山崎

TEL 0867(42)1113
FAX 0867(42)7455

■真庭市

ホームページ



年末年始 クリーンセンターのごみの受け入れと 家庭ごみの収集について

年末の各クリーンセンターのごみの受け入れは、12月29日(金)までです。家庭ごみの収集は、12月28日(木)まで通常どおり行い、金曜日に可燃ごみを収集する地域のみ、12月29日(金)に可燃ごみの特別収集を行います。

▶ごみの受け入れ 午前9時～正午／午後1時～4時30分

施設	～28日(木)	29日(金)	30日(土)～令和6年1月3日(水)	1月4日(木)
コスモスクリーンセンター クリーンセンターまにわ 真庭北部クリーンセンター	通常 受け入れ	特別 受け入れ	休み	通常 受け入れ

▶家庭ごみの収集 ※必ず午前8時30分までに決められた場所へ出してください。

施設および地域		28日(木)	29日(金)	30日(土)～ 1月3日(水)	1月4日(木)
コスモス クリーンセンター	北房	通常収集	特別収集	休み	通常収集
	落合		収集なし		
クリーンセンター まにわ	月・木 収集コース		特別収集		
	火・金 収集コース		収集なし		
	久世		特別収集		
	火・金 収集コース		収集なし		
勝山	月・木 収集コース		特別収集		
	火・金 収集コース		収集なし		
真庭北部 クリーンセンター	美甘・湯原		特別収集		
	蒜山		収集なし		

※詳しくは、ごみ収集カレンダーをご覧ください。

問 環境課 資源循環対策室 TEL0867-42-1113 (FAX7455)
Email: kankyoh@city.maniwa.lg.jp

真庭市
ホームページ



令和6・7年度許可申請受付開始

一般廃棄物収集運搬業務

商店などの事業所から出る事業系一般廃棄物の収集運搬業務を行うには、許可が必要です。許可を受けようとする事業者は、受付期間内に環境課で申請手続きを行ってください。

■受付期間 12月4日(月)～22日(金)午後5時(必着)

■問い合わせ先 環境課 山崎
TEL 0867(42)1113
FAX 0867(42)7455

■真庭市
ホームページ▼



年末年始の業務日程

火葬場(真庭・北部)

真庭火葬場・真庭北部火葬場は、12月31日(日)まで年末の業務を行い、令和6年1月1日(月)から3日(水)まで休業、年始は4日(木)から業務を開始します。なお、休業期間中も火葬予約は受け付けています。

■問い合わせ先 環境課 芦田
TEL 0867(42)1113
FAX 0867(42)7455

■真庭市
ホームページ▼



参加希望者は事前申込を

久世新春ロードレース大会

新春の久世のまちを走り抜けるロードレース大会を今年も開催します。

■開催日 令和6年1月14日(日)
※悪天候の場合は中止(小雨・小雪は決行)

■場所 市役所本庁舎周辺
(スタート・ゴール)

■種目

・小学生の部…2キロメートル

・中学生、一般の部(高校生以上)…2、4、6キロメートルから選択

・ファミリーの部(家族2人以上で一緒に走り、一緒にゴール)…2キロメートル

■参加資格

誰でも参加可能(市外在住可)

■参加費 無料

■申込方法 事前に真庭市ホームページからお申し込みください。当日の参加申込は不可です。

■申込締切 12月22日(金)正午

■問い合わせ先

スポーツ・文化振興課 高橋

TEL 0867(42)1178

FAX 0867(42)1416

■真庭市

ホームページ▼

TEL 0867(42)1178

FAX 0867(42)1416

■真庭市

ホームページ▼

TEL 0867(42)1178



お知らせ

INFORMATION

12月の休日急患担当医

診療時間：午前9時～午後5時

3日

- 湯原温泉病院・湯原
0867-62-2221(FAX2223)
- 廣恵医院(外)・北房
0866-52-5020(FAX5664)

10日

- 落合病院(内)・落合
0867-52-1133(FAX1160)
- 金田病院(外)・落合
0867-52-1191(FAX1917)
- 遠藤クリニック(外)・蒜山
0867-66-3002(FAX3366)

17日

- 勝山病院・勝山
0867-44-3161(FAX5331)
- イケヤ医院(内)・久世
0867-42-0122(FAX5401)

24日

- 金田病院・落合
0867-52-1191(FAX1917)
- 新庄村診療所(内)・新庄村
0867-56-3255(FAX3256)

29日

- 近藤病院・勝山
0867-44-2671(FAX2989)
- 宮島医院(内)・勝山
0867-44-2403(FAX3432)

30日

- 勝山病院・勝山
0867-44-3161(FAX5331)
- 松坂医院(内)・久世
0867-42-3300(FAX3556)

31日

- 金田病院・落合
0867-52-1191(FAX1917)
- 近藤病院・勝山
0867-44-2671(FAX2989)

～1月～

1日

- 落合病院(内)・落合
0867-52-1133(FAX1160)
- 湯原温泉病院・湯原
0867-62-2221(FAX2223)

2日

- 金田病院・落合
0867-52-1191(FAX1917)
- 勝山病院・勝山
0867-44-3161(FAX5331)

3日

- 落合病院(内)・落合
0867-52-1133(FAX1160)
- 近藤病院・勝山
0867-44-2671(FAX2989)

12月3日、29日は、令和5年
度休日急患担当医編成表
から変更になっています。

久世税務署からのお知らせ インボイス制度説明会開催

10月1日から始まったインボイス制度の説明会を実施します。参加希望者は事前予約の上、ご参加ください。

■日時・内容 12月14日(木)
午後2時～ 説明会

午後3時～ 登録要否相談会

■場所 久世税務署

■問い合わせ先

久世税務署調査部門

TEL 0867(42)0498

■国税庁

ホームページ▶



年末調整などの電子化・簡易化が進んでいます。国税庁のホームページをご覧ください。

年末調整の電子化▶



▶確定申告の簡易化

必ず届け出を 第三者行為によるケガ・病気

第三者行為によるケガや病気で医療機関を受診する場合も、国民健康保険の保険証を使用して治療を受けることができます。ただし、この場合は届け出の義務があるので、速やかに市民課に届け出てください。

第三者行為によるケガや病気とは、他人の行動が原因となるケガや病気です。お互いに過失がある場合(過失割合にかかわらず)や、加害者が親族や不明である場合も該当します。例えば、交通事故、スポーツ中の事故、飲食店での食中毒、他人のペットに噛まれた、けんかなどです。

治療に要する医療費は、本来加害者が負担すべきものです。保険証を使って治療を受けた場合は、国民健康保険が

医療費をいったん立て替えた後、加害者や保険会社に請求します。届け出をしないと、本来加害者が負担すべき医療費を国民健康保険が負担することになり、国保税の増加につながってしまいます。

そのため、国民健康保険では、第三者行為の可能性のある治療をした場合、傷病原因などについて文書で尋ねる場合があります。ご協力をお願いします。

■問い合わせ先 市民課 柴田

TEL 0867(42)1112

FAX 0867(42)1319

■真庭市

ホームページ▶



前日までに予約を 年金相談

年金相談では、相談内容を把握するために、前日までに年金事務所へ予約が必要です。

入居者定期募集 市営住宅

勝山地区にある市営住宅の入居者を募集します。

■申込締切

12月15日(金)午後5時

※多子世帯(同居しようとする親族に18歳未満の児童が3

■真庭市

ホームページ▶



■問い合わせ先 市民課 清水

TEL 0867(42)1112

FAX 0867(42)1319

■真庭市

ホームページ▶

人以上いる人)は抽選回数の
優遇措置があります。

なお、応募のなかった市営

住宅は入居者を随時募集して

います。募集物件は、都市住

宅課または各振興局の住宅担

当者までお問い合わせいただ

くか、真庭市ホームページを

ご覧ください。

■問い合わせ先

都市住宅課 古南

TEL 0867(42)7781

FAX 0867(42)1988

■真庭市

ホームページ▶



勝山地区 石原住宅
(3DK、1戸、平成3年度建築)
・家賃 18,400円～27,400円
・1月下旬入居可能(予定)

生活の安全と安心を確保

要援護世帯の除雪費用支援

自力で除雪することが困難であると認められる高齢者や身体障がい者などで構成する世帯に対し、除雪に要した費用の全部、または一部を助成します。

■対象者

- 真庭市に住所があり、次のいずれかに該当する人
- ① 65歳以上の1人暮らし世帯
- ② 75歳以上の高齢者のみの世帯
- ③ 身体障害者手帳1級から4級までの人のみの世帯
- ④ 介護保険制度で要支援1以上の認定を受けている人のみの世帯

■対象作業 事業者に委託した居住家屋の除雪作業

- ① 玄関前から公的な除雪の対象となっている道路までの除雪
- ② 屋根の雪下ろし（下ろした雪の生活上必要最小限の処理も含む）

■助成金額

対象作業費用の2分の1（生活保護世帯は全額）

- ※年度あたり2万円を上限
- ※100円未満は端数切捨

■申請方法

申請書に対象作業費用の支払

いが証明できる書類（領収証の原本など）を添えて、福祉課または各振興局市民サービス窓口に提出してください。

■問い合わせ先 福祉課 美甘

TEL 0867(42)1581

FAX 0867(42)1369

■真庭市

ホームページ▼



ご協力お願いします

道路の除雪作業

道路（市道除雪指定路線）上に10センチ以上の積雪がある場合、市で除雪作業を行っています。安全で効率的な除雪作業へのご協力をお願いします。

- ① 車道・歩道上にある除雪作業の障害となるものや、道路脇に設置している電気柵など除雪作業で破損する恐れがあるものは、事前に撤去してください。
- ② 積雪や天候、道路状況によつては、除雪作業が遅れる場合があります。
- ③ 除雪作業の遅れや中断につながる場合があるので、路上駐車はしないでください。
- ④ 全ての道路を除雪することは困難です。幹線道路から優先的に除雪するので、身近な

生活道路の除雪にご協力ください。

- ⑤ 除雪作業中は大変危険なので、除雪車には近づかないでください。
- ⑥ 除雪車が通過した後はどうしても雪が残ります。自宅前の除雪にご協力をお願いします。

■問い合わせ先 建設課 曲

TEL 0867(42)5033

FAX 0867(42)1988

■真庭市

ホームページ▼



蜜蜂を飼養する皆さんへ

蜜蜂飼育届

原則、蜜蜂を飼育する全ての人は、養蜂振興法に基づく蜜蜂飼育届の提出が必要です。令和5年の飼育状況から変更が無い場合も、必ず毎年1回飼育届を行う必要があります。

■届出期間

令和6年1月4日(木)～31日(水)

■届出書類

岡山県農林水産部畜産課のホームページからダウンロードできるほか、真庭地域事務所畜産第二班（真庭市勝山591）でも配布しています。

■届出手数料 無料

■問い合わせ先 岡山県農作県民局農林水産事業部農畜産物生産課畜産第二班

TEL 0867(44)7564

FAX 0867(44)4754

■岡山県

ホームページ▼



たい肥の使用散布を支援

真庭市たい肥等利用促進補助金

市民の皆さんが、たい肥や有機質の肥料を利用する際の費用の一部を補助します。環境に優しく、土を豊かにする。そんな肥料を使ってみませんか。

■対象者

認定農業者、認定新規就農者、一定規模以上の農業者（水稲・1畝以上、野菜・果樹・30ア以上）、3戸以上の農業者で構成される農業者団体

■対象経費

- ① たい肥などの購入費用
- ② たい肥などの散布委託費用
- ③ 土壌診断に関する費用

※真庭市内で家畜ふん尿などの有機資材を主原料として生産した普通肥料または、特殊肥料で、肥料の品質の確保等に関する法律に規定の登録または届出をしている肥料が対象です。

※事前申請が必要です。申請

前に購入、散布、診断した場合は補助対象になりません。

■補助率など

- ① ②ともに3分の2以内（上限1トあたり2000円。農地10アあたり年間3トまで）
- ③ 10分の10以内（上限1万円。1対象者につき年3回まで）

■申請方法

申請書および添付資料を農業振興課、または各振興局窓口提出してください。様式は市ホームページからダウンロードできるほか、農業振興課または、各振興局窓口でも配布しています。

■申請締切

令和6年1月31日(水)

■問い合わせ先

農業振興課 真崎

TEL 0867(42)1031

FAX 0867(42)3907

■真庭市

ホームページ▼



まにこいん
20%還元
キャンペーン中
12/31(日)まで

お知らせ

INFORMATION

真庭地域企業説明会 ふるさとワーク真庭開催

市内の企業10社の仕事内容などを聞ける機会を提供します。履歴書不要、服装自由、参加費も無料です。気軽に参加ください。併せてシルバー人材センターの利用相談やハローワークの職業相談も実施します。

■日時 12月14日(木)
午後2時～4時

■場所 久世公民館

■申込方法 ハローワークへ来所し直接申し込み。

■問い合わせ・申込先

真庭市ふるさとハローワーク

TEL 0867(53)0220

ハローワーク津山

相談・サービス第1部門

TEL 0868(35)2672

■真庭市

ホームページ▼



高校生の参加者募集 こども園見学バスツアー

美作県民局では、高校生対象のこども園見学バスツアーを開催します。午前中は岡山県北のこども園を見学し、保育を体験します。午後は美作大学で大学生や保育士と座談会形式で交流ができます。保育士に興味のある高校生は、ぜひご参加ください。

■日時

12月26日(火)午前9時～

■行程 天の川こども園↓かがみの中央こども園↓美作大学

■定員 15人

■参加費 無料

■申込方法 ホームページからお申し込みください。

■申込締切 12月8日(金)

■問い合わせ先

岡山県美作県民局福祉振興課

子育て支援班 田中

TEL 0868(23)0113

資源循環 で 持続可能なまちへ

環境課 資源循環対策室
TEL0867-42-1113

真庭市では生ごみ、し尿などをメタン発酵させ、液体肥料(バイオ液肥)にリサイクルしています。

バイオ液肥の
成分・使い方はこちらから

真庭市 資源循環ポータルサイト



facebook で情報発信中



FAX 0868(23)6129
■岡山県
ホームページ▼



ご応募お待ちしております 令和6年度採用任期付職員

真庭市では、業務量の増加や幅広い市民ニーズに対応するため、市役所や出先機関などで勤務する任期付短時間勤務職員を募集します。詳しくは、ホームページをご覧ください。

■試験日 12月17日(日)

■募集職種

保育教諭、調理員、ケアマネジャー、図書館司書など

■申込締切 12月11日(月)

■問い合わせ先 総務課 江崎

TEL 0867(42)1150

FAX 0867(42)1341

■真庭市

ホームページ▼



本好きな人、集まれ!

「もしかしたら、としょ恋?!」

趣味の合う人が集まれば、自然と話が弾みます。みんなで楽しい時間を過ごしましょう。気軽にご参加ください。

- ▶日時 令和6年1月13日(土)
午前10時～正午
- ▶場所 中央図書館
- ▶定員 男女各6人(真庭市に在住・在勤の独身の人。女性は市外参加者もOK)
- ▶会費 1,000円
- ▶申込方法 申込フォームまたはメールで申し込み
- ▶申込締切 12月20日(水)

問 交流定住推進課 後安
TEL 0867-42-1179 (FAX1353)
koryu@city.maniwa.lg.jp
真庭市ホームページ▶



スポーツで素敵な出会いを

スポ恋 in まにわ

わいわいスポーツしながら、交流しましょう。体を動かすのが好きな人、気軽にご参加ください。

- ▶日時 令和6年2月4日(日)
午後0時30分～4時30分
- ▶場所 白梅総合体育館
- ▶定員 男女各10人
(真庭市・新庄村内に在住・在勤の20歳～45歳の独身の人)
- ▶参加費 2,000円(男性のみ)
- ▶申込方法 申込フォームまたはメールで申し込み
- ▶申込締切 令和6年1月19日(金)

問 (一財)真庭スポーツ振興財団 南條
TEL 0867-52-5905 (FAX5902)
shiraume@shiraume-park.jp
真庭スポーツ振興財団
ホームページ▶



生ごみ等資源化施設 進捗状況[2024年完成予定]

(真庭市赤野地内)

10月末現在進捗率 86%

2022年4月から、生ごみ等資源化施設整備工事を開始しています。

現在、処理管理棟の内装工事および機器据付・配管工事を行っています。



管理棟の外観写真(10月末現在)

みんなでチャレンジ 防災さんぽ

「防災さんぽ」とは、散歩という健康的な活動をしながら、自宅や勤務先から避難する際の備えや、周辺に危険な箇所は無いかの確認をしておくことです。この機会に、チャレンジしてみませんか。

■チャレンジ期間 12月3日(日)～令和6年3月20日(水)

■参加方法

①防災さんぽを実施

自宅や職場から避難先まで非常持出袋などを持って危険箇所の有無などを確認、記録しながら歩いて移動

②実施報告フォームに入力

参加者情報や発着地点、実施日、所要時間、歩数、散歩中に気付いた点などを報告

■その他 先着500名に、まにこいん200分進呈

※一人1回まで

■問い合わせ先

真庭スポーツ振興財団

TEL 0867(42)1177

FAX 0867(45)7557

■真庭スポーツ振興財団

ホームページ▼



12月3～9日は障害者週間 庁舎のWell-Being Week

障がい者週間に合わせて、市役所が福祉との出会いの場となるよう「庁舎まるごとWell-Being Week」と題し、本庁舎で福祉作業所の製品販売と作品展示を行います。この機会に障がいについて知り、身近なこととして考え、誰もが暮らしやすい真庭の実現を目指していきましよう。

■展示・販売期間

12月4日(月)～12月8日(金)

※物品販売は正午～午後1時

■場所 市役所本庁舎

■問い合わせ先

福祉課 新家・中島

TEL 0867(42)1581

FAX 0867(42)1369

■真庭市

ホームページ▼



冬季展覧会を開催

蒜山ミュージアム

「あつまるところー隈研吾建築資料と蒜山ミュージアムの活動展」を開催します。

GREENABLE HIRUZEN や

国立競技場の設計で知られる隈研吾さんの建築資料と、蒜

山ミュージアムのこの1年のワークシヨップなどの活動を紹介する展覧会です。

建築資料の展示では、公共施設など人を集める・人が集まる建物を、建築の「開く」要素に注目して紹介します。

蒜山ミュージアムの活動紹介では、館内で行われたものに加え、学校でのワークシヨップも紹介します。

■会期 12月9日(土)～令和6年3月3日(日)

■問い合わせ先

スポーツ・文化振興課 三井

TEL 0867(42)1178

FAX 0867(42)1416

■蒜山ミュージアム

ホームページ▼



中央図書館の名物企画

「音のとしよかん」第3弾

図書館で一緒に、暖かく、にぎやかに過ごしましょう。

①まにわ図書館ラジオVol.4

■日時 12月9日(土)

午後2時～3時30分

■場所 中央図書館

■内容 図書館内に設けたラジオ局から館内に番組が流れます。今回は、「旧勝山町、山の暮らし」をテーマにメイ

ンパーソナリティと町の人たちがおしゃべりします。

※参加費無料、申込不要です。

②もちより音楽カフェpart2

■日時 12月9日(土)

午後7時～9時

■場所 中央図書館

■内容 1人1曲好きな歌や思い出の歌を持ち寄って、みんなで聴きます。鑑賞のみも大歓迎です。

■定員 15人

■参加費 無料

■持ち物 レコードやCD、カセットテープ、飲み物、お菓子、おつまみなど

■申込方法 中央図書館へ来館、電話、ファックス、メールのいずれかで申し込み

■問い合わせ先

中央図書館 小林

TEL 0867(44)2012

FAX 0867(44)2020

■真庭市

ホームページ▼



参加者募集

リサイクルプラザまにわ工房教室

リサイクルプラザまにわでは、隔月で工房教室を開催しています。12月は、クレイアート(粘土細工)で、来年の干支・辰

(竜)を作ります。天に昇るとの伝承から、運氣が上がるといわれる辰を作って来年の運氣を上げてみませんか。

■日時

12月22日(金)午後1時～

■場所 リサイクルプラザまにわ(クリーンセンターまにわ内)

■定員 15名

■参加費 1200円

■申込方法 リサイクルプラザまにわへ来所、または電話でお申し込みください。

■申込期間

12月12日(火)～19日(火) ※先着順

■問い合わせ先

リサイクルプラザまにわ

TEL 0867(42)1161

FAX 0867(42)7454

■真庭市

ホームページ▼



ありがとうございます

篤志寄附

(一社)岡山県自動車整備振興会真庭支部落合ブロックから、カーブミラー6基をいただきました。



栄養委員が「真庭市食育推進ボランティア」に生まれ変わります

▶問い合わせ先 健康推進課
TEL 0867-42-1050 (FAX1388)

真庭市ホームページ▶



これまで栄養委員は、住民の健康と福祉の増進を図ることを目的に、正しい食生活の普及と食育の推進に取り組んできました。

しかし、社会構造や住民の食に関する価値観など、「食」を巡る状況が変化し、食生活のあり方も多様化してきました。また、食に関する情報があふれ、情報の受け手である市民が正しい情報を適切に選別し、活用することが困難な状況も見受けられるようになってきました。さらに、食の大切さに対する意識が薄れてきているとともに、郷土料理の伝承など、多彩な地域の食文化が失われつつあります。

このような背景を踏まえ、これからの時代にあつた形で市民に向けた食育の取り組みを進めていけるよう、栄養委員制度を見直します。

令和6年度からは、新たに「真庭市食育推進ボランティア」としてスタートします。



小学生への食育活動

真庭市食育推進ボランティアの役割

真庭市食育推進ボランティアは、市民の健全な食生活の実現を目的に活動します。子どもたちが豊かな人間性を育み、生きる力を身に付けていくために、体験を中心とする食育活動（子育て広場、保育園、こども園、幼稚園、小学校、中学校、高校など）を行います。このような活動により、将来の心身の健康へとつなげていきます。また、関係団体と連携し、共食の機会を確保するための活動も行います。

高齢者においては、要介護にもつながる「フレイル（虚弱）」は低栄養が関連していることから、高齢者の低栄養予防にも取り組みます。

真庭市食育推進ボランティアになるためには

真庭市食育推進ボランティアになるためには、本人の意志に基づき、ボランティアへの登録を行います。ボランティア登録後は、市主催の食育や健康に関する研修会を定期的に受講し、さまざまな知識を身に付けるとともに、市民を対象とする食育推進活動を自主的に取り組みます。

真庭市食育推進ボランティアは、多くの人と交流し、共に支え合い、さまざまな関係団体と連携できるよう、真庭市食育推進ボランティア団体(任意団体)を構成します。

募集は2月から開始します。詳しくは真庭市ホームページなどでお知らせします。

食を通じたボランティア活動がより健康で幸せな地域をつくり、自らの人生を豊かにするものでもあります。



放課後児童クラブでの食育活動

愛育委員は健康づくりを推進していきます

令和6年3月末で任期が終了
次期委員の選出にご協力ください

▶問い合わせ先 健康推進課
TEL 0867-42-1050 (FAX1388)

真庭市ホームページ▶



今こそ愛育委員が必要だ

かつては、生活のさまざまな面で地域の支え合いの機能が存在していました。しかし、高齢化や人口減少など時代の変化が進み、地域における支え合いやつながりが弱まっていくことが懸念されています。

地域における支え合いの低下は、社会からの孤立を招きます。特に子育て世代では、孤独や不安を持ちながらの子育てになるかもしれません。

中高年世代は、孤立が心の病気などにつながると言われていて、このような課題を解決するためには、地域の声掛けや見守りなど、人と人がつながっていくことが大切です。

愛育委員は、これらの課題を解決するための活動を行っています。具体的な活動として、赤ちゃんが生まれた家族に絵本を贈る「ブックスタート事業」、親子のふれあいや親同士の交流をすすめる「ベビーマッサージ教室」や「愛育サロン」、乳児とのふれあいや妊婦体験を通じて中高生に命の大切さなどを伝える「思春



思春期ふれあい体験学習活動の様子

期ふれあい体験学習」などを行っています。また、高齢者に向けては、孤立を防ぐための「高齢者の声かけ訪問」や、社会参加や交流を図る「高齢者サロン」などを行っています。その他にも、健康の大切さを知ってもらうための活動も行っています。

愛育委員の選出

令和6年3月末で任期が終了し、来年度に向けて改選となります。自治会からの推薦と併せて、2月から公募も行います。

委員の声



黒田真由美さん(北房支部)
声かけは大切だと教えてもらい、誰でもできる良い活動だと思います。



谷口 典子さん(落合支部)
順番だからと受けた愛育委員。新しい出会い、懐かしい人との再会がありました。少し視界が広がったかもしれません。



森 まゆみさん(久世支部)
子どものことについて「こんな活動をしているんだ」と知ることができ、良かったです。



家原美由紀さん(勝山支部)
初めての愛育活動で戸惑うこともありましたが、人と人とのつながりの大切さを感じました。



原 敦子さん(美甘支部)
愛育委員の皆さんとともに支えあい、学びあう体験ができて良かったです。



田中 梅子さん(湯原支部)
車に乗らないので、歩いて自分の地域でできる活動をしています。



立田 和子さん(蒜山支部)
地域の人とたくさんふれあうことができて良かったです。



ゆきもと かず き
行本 一貴くん
R4.12.6生まれ(久世)
◎ 朱里さん(姉)



はら ちはる
原 千晴ちゃん
R4.12.2生まれ(美甘)
◎ 翔太さん・祐美子さん(両親)



ひし かわ ゆ な
菱川 結名ちゃん
R4.12.1生まれ(一色)
◎ 皓太さん・真代さん(両親)



今月のテーマ 「公園」

「公園は平和の象徴？」

PN うーちゃんさん(栗原)

ブランコ・すべり台・ジャン
グルジム・砂遊びなど。子供の
声がし、寝転がって本を読む
人、太陽の光を浴びお昼寝を
楽しむ人、ベンチに座って話
しをする人…。思い思いに過
ごす。これが本来の楽しい公
園のあるべき姿でしょうか。

私は中学2年生から社会人
1年生までの6年間広島で過
ごしました。ですから公園と
聞くと広島平和記念公園を思
い浮かべます。平和公園とは
旧太田川が元安川と分岐する
三角州の最上流部に位置し、
爆心地周辺を恒久平和の象徴
の地として整備する為、施設
の建設が進められ、1955
年に完成されたようです。原
爆ドームの中は現在入るこ
とは出来ませんが、以前入る



▲PN GTOさん

ことができたときは、ひどい
有り様でした。壁には隙間が
無い程の落書き。それも多種
多様の国の言語で書かれ、こ
の人は原爆を平和を何と考
えているのだろうかと思っ
た程です。

昔は8月6日の原爆記念日
には原爆の子の像に全国から
集まった1年分の折り鶴をへ
リコプターで上空からまかれ、
さらに地上からは鳩が飛ばさ
れ、私たちは鶴を拾いに行った
ものです。どうか原爆資料館
を見学されて、戦争や平和に
ついて考えて欲しいものです。
戦争が如何にむごいか、人が
人を殺す行為が如何に無駄な
行為か考え、そして自然界に
目を向けましょう！豊かな
緑に囲まれて自由にのびのび
と自然を楽しみ、平和な笑い
の輪を広げましょう！それが
公園のあり方、存在なのです。

「公園」

小椋芳子さん(蒜山東茅部)

終戦後小学生となり村の上
級生たちと20人くらいでよく
遊びました。各家に4、5人
の子供がおり25軒の村は、と
てもにぎやかでした。公園も
なく村はずれのうっそうとし
た森の中にお堂があり、かく
れんぼをする遊び場でした。
でもときどきホームレスの人
や傷痍軍人さんがいて、そん
な時は怖くて一目散に逃げ
た。また、村の公会堂の庭が
広く、缶けりや鬼ごっこ、竹
馬、布で作ったボールで野球
をしたりして、夕暮れまで遊
んでいた。でも農繁期は家の
手伝いで遊ぶ子供はいなくな
るのです。

もっと手話のことを知りたい時は 真庭いきいきテレビを見よう

真庭いきいきテレビコーナー「手話でしゅわわせ」では、
聴覚障がい者や手話言語に対する理解を広げるために、真
庭市内の取り組みや日常で使える手話などを紹介します。

●毎月第3火曜日 ほっとまにわいどチャンネルで放送中

●放送時間など詳しくは、テレビの番組表もしくは
MITホームページをご確認ください。



MIT
ホームページ
QRコード

お便り お待ちしております！

メールの場合は
koho@city.maniwa.lg.jp

《2月号読書の広場》

◎テーマは
「習慣」です。

普段意識してやっているこ
と、自然と行っていること
などについて、200字程度
でお寄せください。

◎川柳の兼題は
「真庭(まにわ)」です。

お便り・川柳は、先月号に
同封したはがきをご利用く
ださい。締め切りは12月25
日(月)です。

Happy 1st Birthday

Photo Book

★対象★

発行月に1歳の誕生日を迎えられる市内在住のお子さん。

★応募期限★

誕生月の前の月の10日まで

★掲載内容★

①お子さんの写真②氏名(ふりがな)③生年月日④住所⑤応募者のお名前と続柄

★応募および問い合わせ先★

総務部秘書広報課

〒719-3292 真庭市久世2927-2

TEL0867-42-1163 (FAX1353)

E-mail:koho@city.maniwa.lg.jp



よこ やま こう が
横山 煌河くん
R4.12.20生まれ(久世)
◎ 翔太さん・朱莉さん(両親)



おき だ ま ゆ
沖田 茉優ちゃん
R4.12.15生まれ(栗原)
◎ 昌三さん・彩香さん(両親)



もり と あ
森 翔亜くん
R4.12.11生まれ(落合垂水)
◎ 大樹さん・紀香さん(両親)



かさ はら り あ
笠原 莉杏ちゃん
R4.12.22生まれ(宮地)
◎ 大樹さん・梨花さん(両親)



ふく し ま ゆ う ご
福島 由悟くん
R4.12.21生まれ(福田)
◎ 剛さん・千晶さん(両親)



▲PN さゆり6さい

厳しい残暑も朝夕は涼しさを感じる頃、秋を知るコスモスや彼岸花の彩りを添えて、「落合まちかど展覧会」は節目の20回を迎えました。ここ数年はコロナ禍によって、会話すらままならず、恒例の美の祭典も通り一遍の見学に終わりました。今回は従来の活気が戻り、出品者と和気藹々と交流も深まり、この二年間、それぞれの分野で研鑽した力作、秀作との出会いに心おきなく美の祭典を堪能でき、感激したところです。この展覧会が更に発展するよう切望するものです。

「美の祭典」

PN 赤野太人さん(赤野)

ここからは、皆さんから寄せられた「テーマ」以外のお便りをご紹介します。

研鑽に栄誉

市内で受賞・出場をされた皆さんの中から、全国・県高位以上を基準に掲載させていただきます。(敬称略)

(25頁に続く)

- **杭州2022アジアパラ競技大会陸上競技** 10/22~28
中華人民共和国 女子T20(知的障害クラス)走幅跳
銀メダル

■ **日本パラ陸上連盟の推薦により出場**

川口梨央(蒜山富掛田) ▶



- **第6回全日本ラージボール卓球選手権大会**
6/30~7/2 滋賀県

■ **岡山県卓球協会の選出により出場**

高田幸徳(開田) ▶



- **第46回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会** 8/22~26 東京都

■ **同大会予選会** 7/6 倉敷市

10歳以下女子50m平泳ぎ、10歳以下
女子200m個人メドレー

標準記録突破 石原明香里(関) ▶



- **第1回全国手話ダンス甲子園決勝大会** 9/23 兵庫県

ダンスパフォーマンス賞

■ **同大会西日本予選大会**

8/12 倉敷市 特別賞

Silent voice ▶



- **特別国民体育大会野球競技** 10/8~11 鹿児島県

■ **第105回全国高等学校野球選手権**

記念大会の成績により出場

おかやま山陽高校一土井研照(月田) ▶



- **特別国民体育大会相撲競技** 10/13~15 鹿児島県

■ **特別国民体育大会岡山県予選**

7/9 岡山市

松尾魁心(勝山) ▶





▲うねだりりさん



▲PN 緑羽ヒスイさん



竹灯籠で地域に光を灯す
近藤淳志さん(社)
竹の絵付け体験をしました。「やしろ竹あかり」なので夜と星空をイメージしました。少し思うようにいかなかったけど、上手にできました。竹の穴あけは、初めてでした。小さな穴をたくさんあけて、ドライバーが重くて腕が疲れたけど楽しかったです。大みそかには、竹あかりを見に行きたいな。



丹精して育てた野菜を販売
妹尾恭彦さん(下河内)
真庭高校久世校地最後のきらゝ祭で野菜を販売しました。小松菜やほうれん草、白菜など、食べてくれる人のことを考えて愛情込めて栽培しました。久世校地は今年度末で閉校地となるので寂しいですが、きらゝ祭にはたくさんの方が訪れ、生産物を買って喜んでくれたので良かったです。大勢のお客さんで忙しい販売会になったけど、友達と協力して楽しめました。

来年もホタルが来ますように
岩崎心音さん(下皆部)
まにわ川こみ海こみ削減ウィークのイベントに参加しました。1歳くらいから北房ホタル

取材先で、こんにちは。

真庭人

まにわびと



ルっこミュージカルに参加しています。12日のしんぴおでのイベントでオリジナルダンス曲の「川こみひろいの歌」をしました。北房がキレイになって、住んでいる人の心もキレイになってほしいという気持ちで踊りました。これからもホタルを守ること、できるだけこみを増やさないように活動をがんばりたいし、活動を見てもらった人にもそういう気持ちになってもうりたいです。

図書館へ行こう!

本の紹介

真庭市立久世図書館

〒719-3214 真庭市鍋屋17-1

TEL0867-42-7203 FAX0867-42-7204

開館時間 9:00~18:00

休館日 毎週水曜日(水曜が祝日の場合翌日)
年末年始、蔵書点検(9月頃)

今月のおすすめの本

『みんなの節電生活』

木村俊雄/著 自由国民社



省エネのプロが教える
電気を知った「セツデン侍」が、電気代高騰に負けない賢者の節電術をマンガで解説しています。現代人は電気をムダに使い過ぎているようです。電気代高騰に負けない節電術を学び大切なお金と暮らしを守りましょう。

『地球にじいろ図鑑』

茜 灯里/著 化学同人

日本の伝統色をテーマカラーとして、その色をもつ鉱物を紹介しています。色のつながりで、鉱物・動物・植物を知ることができるユニークな図鑑です。地球は美しい色で満ちあふれていますよ。



『給食が教えてくれたこと』

松丸 奨/著 くもん出版



食えることが苦手な少年は、とある栄養士との出会いをきっかけに学校給食に魅了され栄養士の道を志します。貧困、食品ロスなど、きびしい現実と直面しながらも「最高においしい」給食を目指し、挑戦を続ける一人の栄養士による奮闘記です。

『猫丸神社のひみつ』

西村友里/著 ゆーちみえこ/絵 国土社

学校の総合の時間、幹人の家の猫丸神社について調べるようになりました。お守りもおみくじもない、小さな神社ですが、とんでもないひみつが隠されていました。調べる幹人たちの前に、現れる大きな白猫。あの猫はいったい何?





ハルゴ アツキンゴ

真庭市栄養改善協議会の提供です

ぎょうざの皮で作るおやつ

余ったぎょうざの皮で
簡単に作れるレシピです。

材料(4人分)

- ・ぎょうざの皮 12枚
- ・とろけるスライスチーズ 4～5枚
- ・じゃこ 20g
- ・ミニトマト 4個
- ・ピーマン 1個

作り方

- ①ピーマンはヘタを取り薄い輪切りに、ミニトマトも輪切りにします。
- ②ホットプレートの上にぎょうざの皮を広げ、じゃこ、ミニトマト、ピーマンの順に彩りよくのせ、最後にとろけるチーズを手で裂きながらまんべんなくのせます。
- ③250度でフタをして焼き加減を見て出来上がり。

1人分栄養価

エネルギー 28kcal、たんぱく質 1.6g
脂質 0.8g、炭水化物 4.0g
カルシウム 22mg、食塩相当量 0.1g

今月のレシピ提供

池田千栄子さん
(久世支部)



真庭いきいきテレビでも放送します

暮らしのほっと情報
レシピ紹介 毎月第2火曜日



大きいおイモがとれました！

米来小学校とこども園の子どもたちが、真庭旭ライオンズクラブのメンバーと一緒にイモ掘りをしました。イモが土の中から顔を出すたびに、子どもたちから黄色い声が上がっていました。

川柳「庭」

選:湯原川柳会 狩谷博子さん

我が庭に花色あせて秋ふかし
円満な家庭の舵とりするの妻
見事だねほめつつ通るよその庭
秋の庭季節はずれの花一輪
チョコキチョコキと庭師のリズム空高し
庭に咲く花の香りに満ち足りる
庭先で四季を教えてくれる花
日差し浴びさえずる君を庭が待つ
花盛り庭に植えたる吾子の樹が
Uターン家は灯りて子ら庭に
花の咲く記念樹庭で共に生き
キンモクセイ庭の茂みで自己主張
人並みの幸せ庭に花がある
校庭のカプセル目覚むクラス会
夏休み庭の隅っこ虫の話
庭先に花を咲かせる立ち話
庭の菊ほめられ一本多く切り

〈軸吟〉

山野草集めわが庭山野なり

博子	道下房子	小谷義孝	大原良治	佐藤彰	横山とも子	小谷美紗子	かし子	小椋芳子	釣り人	パラダイス	永田寿道	菊池千江子	美甘栄枝	岩古房恵	八木順子	やまどり	長尾道子
月田	月田	上水田	上水田	久世	蒜山下見	榎東	榎東	久世	勝山	本郷	本郷	蒜山上長田	蒜山東茅部	柴原	上水田	三阪	

関 雅之
Seki Masayuki



これまでに作ってきた作品



縄をなう手つき



関 雅之さん(鉄山)

東京都出身。真庭なりわい塾への参加がきっかけで真庭市に移住。元真庭市地域おこし協力隊。「わらじあーむ。」で慈観雅之として、わら細工やしめ飾り作り、ワークショップなどを行う。一緒にわら細工やしめ飾り作りをする人を募集中。

真

MANI WABITO

庭人

「なりわい」を作りたくて

わら細工やしめ飾りを制作する「わらじあーむ。」で、慈観雅之として活動する関雅之さん。関さんがわら細工を始めたのは、蒜山のがま細工を見たのがきっかけ。「自然素材でできていることにも魅力を感じましたし、手仕事を自分でやりたいな」と思っていたんです」と話します。

わら細工を選んだのは、わらなら比較的手に入れやすいと考えたから。「何かなりわいを作りたいっていう思いがあったんですけど、一から作るのはいかなか難しいことです。それで本当に、わらにもするが思いでわら細工を始めたんです」と笑います。

こだわっているつもりはないけれど

日本の職人が作るしめ飾りの多くは、米ができて前に刈ったわらを使うそうです。しかし関さんは、米ができて、脱穀した稲わらを使います。「色が好きですし、グラデーションが良くて」と話します。また、使うわらは無農薬で手刈りされたもの。「こだわっているつもりはないんですけど、やるなら自分の基準として設けたい」と思ったそうです。

引き継ぐこと

「目標としているのは、ちゃんと引き継ぐこと」

と言う関さん。「わら細工を始めるとき、うまいと言われる方々のところに行きましたが、もうやめている人や、できないという人にたくさん会いました。他の伝統工芸もそうですけど、目の前でどんどん途絶えていることを感じました」と話します。その経験もあり、「わら細工を仕事にしたいという人が、わら細工で生活できるまでの土台作りをしたいです」と力強く話してくれました。

「まにわびと」

49

2023

叙勲

叙勲・叙位を受けられた方をご紹介します。

高齢者叙勲

瑞宝双光章



元中和村助役
葛尾 雅光さん(蒜山吉田)

中和村役場を退職後、平成4年から8年間、中和村助役を務められました。村内全域の下水道整備やトンネル開通など道路網の整備、津黒川砂防公園開園などに奔走され、住民福祉の向上や地域振興に大きく寄与されました。

故人に叙位・叙勲

●従六位

立田 豊明さん(蒜山湯船) 97歳
元川上村長(令和5年9月16日逝去)

危険業務従事者叙勲

瑞宝単光章



元警部補
西田 徹さん(田原山上)

昭和44年、総社警察署の拝命を皮切りに定年を迎えられるまでの40年間、交番・駐在所などで勤務する地域課や刑事畑を中心に、治安維持に尽くされ、多くの事件を解決。指導官として、多くの後進の教育にも力を注がれました。

危険業務従事者叙勲

瑞宝単光章



元准陸尉
森谷 悦和さん(下方)

昭和46年に善通寺の教育隊へ入隊。主に情報関係職務に従事されたほか、北海道での日米共同訓練や雪まつり雪像制作、阪神淡路大震災など複数の災害派遣にも対応。36年の永きにわたり、円滑な隊務運営に貢献されました。

研鑽に栄誉

市内で受賞・出場をされた皆さんの中から、全国・県高位以上を基準に掲載させていただきます。(敬称略)

(21頁の続き)

2023年少林寺拳法世界大会 in Tokyo, Japan

10/7～8 東京都

■同大会予選会兼2023年度岡山県少林寺拳法大会

6/11 倉敷市 中学生男子(組演武)の部 2位
(写真左から)

高山珠蓮(久世)、
池田瑞希
(落合垂水)▶



■令和5年度生涯スポーツ優良団体表彰(文部科学大臣表彰)

10/13 東京都

総合型地域スポーツクラブ
しらうめスポーツクラブ▶



■ねんりんピック愛顔のえひめ2023ゲートボール交流大会

10/28～31 愛媛県

■第35回全国健康福祉祭 岡山県予選大会

4/15 新見市
4位相当 清谷チーム▶



■第22回全国社会人9人制バレーボール西ブロック男女優勝大会 10/27～30 高知県 優勝

■同大会岡山県予選会 8/20 倉敷市 優勝
輝陽一 山谷真生(荒田)

■ねんりんピック愛顔のえひめ

2023卓球交流大会

10/28～31 愛媛県

■岡山県卓球協会の推薦により出場 スポレクセ▶



■行政相談委員総務大臣表彰

11/1 真庭市

渡辺正則(湯原温泉)▶



岡山県内の表彰など

■令和5年度第38回中国ママさんバレーボール大会(一般の部)岡山県予選大会

9/2 玉野市 優勝 White plum

■2023山陽新聞カップ第32回県ユース(U-15)サッカー選手権大会

9/16～18 岡山市 準優勝

FC Viparte—小林丈二(下河内)、金定秀芽(多田)、
金崎陵汰(久世)、山根一真(大庭)

■岡山県中学校秋季体育大会バスケットボール競技

11/4～5 美咲町、津山市 優勝

倉敷市立南中学校—森田悠介(富尾)

■令和5年度岡山県青少年健全育成成功労者知事表彰

11/15 岡山市

個人の部 徳永佳子(久世)

団体の部 遷喬学区見守り隊、真庭署管内少年警察協働員会落合班

ぐらと まにわ 真庭 まちの話題

10月27日、大相撲真庭場所が白梅総合体育館で開催され、112人の力士が出場しました。真庭市出身の真庭山と弟の祥乃山（さちのやま）も出場し、見事白星。また取組のほかにも、禁じ手を面白おかしく紹介する「初切」、七五調のはやし歌「相撲甚句」なども披露されました。立行司の第41代式守伊之助さんが通った遷喬小学校の同級生が中心となって立ち上げられた実行委員会により開催された真庭場所。約1800人が訪れ、大迫力の取組を楽しみました。



大迫力の取組と立行司・第41代式守伊之助さん



真庭市出身の真庭山も活躍



多くの人が来場



初切に観客も笑顔

10月24日、県の消防協会が行っている「おかやまの消防団」いきいき出前講座が、蒜山中学校で開かれました。講座には蒜山中学校の全校生徒128人と、真庭市消防団蒜山方面隊の35人が参加。生徒たちはポンプ車での操法を見た後、ポンプ車や水消火器を使った消火活動を体験しました。生徒からは、「火災に対する意識が高まった」、「仕事と消防団の活動を両立していて凄い」といった感想が挙げられていました。

地域を守る消防団を学ぶ 「おかやまの消防団」いきいき出前講座



消防団の人と一緒にポンプ車での放水を体験



スマートフォンを使ってみんなで謎解き！

10月22日、教育関連イベントを企画運営する学生団体あねもねが、スマートフォンなどを使って謎解きをするイベントを、旧遷喬尋常小学校で開きました。参加した親子は、スマホアプリやインターネットの検索などの機能を使い、謎解きにチャレンジ。真庭市に関連した問題を解いていきました。あねもねは「ICTは授業でも取り入れられていくので、楽しみながら慣れていって欲しい」と話していました。

ICTで謎解きできるかな？ タイムスリップアドベンチャー

11/3 実りの秋 地域みんなで楽しむ

第40回中和紅葉祭が、市蒜山振興局中和出張所前の特設会場で行われました。地域の伝統食けしめ寿司などの販売コーナーのほか、文化活動の発表・展示、特産品の当たる抽選会があり来場者を楽しませました。



11/5 大晦日は「やしろ竹あかり」へ

毎年大晦日に行われている「やしろ竹あかり」に向けた竹灯籠づくりが行われました。社地域の住民をはじめ、市外の大学や企業からもボランティアが参加し、竹に穴をあけたり色を塗ったりして灯籠を作りました。



11/11 最後の販売会にぎわう

今年度末で閉校地となる真庭高校久世校地で、最後のきらゝ祭が開かれました。肉みそやコッペパン、ホウレンソウなどの野菜、草花の苗などが販売され、買い求めようとやってきた人たちが長い列を作っていました。



11/12 レッツエンジョイミュージック

真庭音楽祭が勝山文化センターで開かれました。世代や音楽のジャンルを超えて交流し、地域の音楽文化の発展につなげようと平成16年から開かれていて、今年はコーラスグループやバンドなど15組が出演しました。



11/18 「王者の味」で真庭をPR

ご当地グルメの祭典、B-1グランプリの東海・北陸大会が三重県四日市市で開かれました。2011年ゴールドグランプリ受賞の「ひるぜん焼そば好いどん会」もゲスト参加し、秘伝の味で真庭市をPRしました。



街道沿いにある史跡を眺める参加者

現在の兵庫県にあたる播磨国の姫路から島根県にあたる出雲国の松江までを結ぶ約215キロの古道「出雲街道」を歩くイベントが、10月29日に開かれ、県内外から約50人が参加。出雲街道勝山宿の会のメンバーが久世から勝山まで案内しました。平成24年から県内の街道を区画を分けて歩き、令和4年に踏破している歩こう会は、来年5月に伯耆国を歩く最終回を予定。今後は資料づくりに注力することです。

県内で最後の歩こう会
出雲街道を歩く会



休憩スペースで食事や会話を楽しむ

10月29日、美甘振興局で美甘ふるさとまつりが開かれました。振興局内では、料理教室やマジックのワークショップが、外では美甘地域で採れた野菜や特産品、豚汁、綿菓子などの販売や愛育委員会美甘支部による健康チェックなどが行われました。また、会場には休憩スペースも用意され、地域の人たちが食事や会話をしながら、のんびりと過ごしていました。まつりの最後には、毎年恒例の餅まきも行われました。

地域でつくる交流の場
美甘ふるさとまつり

冬の湯原はお楽しみいっぱい！

Present of Just One Million Years
たった100万年のおくりもの

12/23 キャンドルファンタジー

18:00～21:30

会場 露天風呂砂湯 周辺

露天風呂の砂湯周辺に「ろてんぶろ」の語呂に合わせた626個のキャンドルが点灯。温泉の湯煙がキャンドルの灯りをまとい、一帯が幻想的な雰囲気に包まれます。イベント終盤はクリスマス花火との共演もお楽しみに。

夜マルシェ



同日の砂湯周辺には飲食店も登場。温かい食べ物や飲み物の屋台グルメで、体の中からも温まります。



花火の打ち上げ
20:30～

2024年

1/7 月祝 8 しし祭り

11:00～15:00

会場 湯原温泉街

冬の貴重なタンパク源として湯原では昔から食べられていたイノシシ肉。豚肉より味が濃く、ワイルドな歯ごたえが特徴のイノシシ肉を、さまざまなメニューで味わえます。

花火の打ち上げ
1/7 日 20:30～



2024年

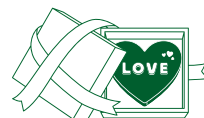
2/12 バレンタイン・スイーツマルシェ

10:00～14:00

会場 湯原ふれあいセンター（湯原振興局）

真庭をはじめとする人気店のスイーツが湯原に集結。前日の夜には花火が上がり、バレンタインのムードを盛り上げます。詳しくは湯原温泉の公式Instagramなどで随時更新予定。

花火の打ち上げ
2/11 日 20:30～



こちらも
チェック

12月22日金 / ゆず湯

会場 露天風呂砂湯

12月27日水 / 砂湯大掃除

会場 露天風呂砂湯

湯原のイベント詳細・問合せ先



最新情報はInstagramから

湯原観光情報センター

TEL: 0867-62-2526

(10:00～18:00)



湯原温泉【公式】



キャンドルファンタジー

このほか、冬のイベント情報はこちら

一般社団法人 真庭観光局

TEL: 0867-45-7111

(平日 8:30～17:30)

<https://www.maniwa.or.jp>

真庭観光局

検索



真庭観光局 WEBサイト

あつという間に季節は秋から冬に変わり、もうすぐ12月。わが家ではまだですが、そろそろこたつの出番を迎えたお家も多いのではないのでしょうか。あるとついつい入りたくなるこたつ。遊びのイベントの日には、中央図書館の外でも大活躍しています。寒い日でしたが、子どもも保護者も地域の人も、一緒にこたつを囲んで笑い合っていて、とても温かそうでした。 井上



▲清水ミチ子さん

大相撲真庭場所の取材に行きました。大相撲を生で見ることが初めてだったため、会場に入った瞬間から驚きの連続でした。力士の皆さんの体格に驚き、観客との近さに驚き、大迫力の取組に驚き。実際に会場で体験しないと分からないことでした。また、真庭市出身の真庭山、弟の祥乃山は、ともに見事白星。取組中の、郷土力士二人への声援が印象的でした。 村松

まにわがスキップ!!
編集後記